

対象国の条件:

研修コース番号:201984839-J002

案件番号:201984839

主分野課題:ジェンダーと開発/ジェンダーと開発

副分野課題:防災/地震災害対策

使用言語:英語

案件概要

女性・子ども・高齢者・障害者等災害リスクの高い人々への配慮と参画に留意した予防、緊急対応、復旧・復興について、日本の関係機関の取組や被災地における経験から、課題および良事例を学び、また参加国の取組を共有しながら、女性の参画を通じた災害対応能力の強化方法を習得する。

目標/成果

対象組織/人材

【案件目標】

日本及び参加国が災害対応におけるジェンダーと多様性の課題と取組の知見を共有し、相互に学ぶことで、災害対応におけるジェンダー・多様性の視点強化と女性のリーダーシップ促進を目指して、有効なアプローチを共創する。

【成果】

日本が国内外で実施する予防、緊急対応、復旧・復興に関する取り組み及び参加国の事例を通じて、以下の内容について研修する。
(1) 災害の予防、緊急対応、復旧・復興における政府および地域コミュニティの役割・機能と、なぜジェンダー・多様性の視点が必要かを理解する。
(2) 災害の予防、緊急対応、復旧・復興におけるジェンダー・多様性の視点に立った取り組みを地方視察と意見交換を通じて相互学習する。
(3) ジェンダーと多様性の視点に立った災害対応能力強化と女性リーダーシップの育成の手法を演習を通じて習得し、具体的取組のためのアクションプランに取りまとめられる。

【対象組織】

1. 行政（防災および男女共同参画）
2. 市民団体:男女共同参画の視点から災害対応を実施する市民団体

【対象人材】

各国3名。3名とも十分な英語力のある者とする。
1. 行政官①: 防災行政において男女共同参画を担当する者（当該分野における3年以上の実務経験）
2. 行政官②: 男女共同参画行政（女性省、社会福祉省など）において防災を担当する者（当該分野における3年以上の実務経験。女性が望ましい）
3. 市民団体: 代表（当該分野における5年以上の実務経験。女性が望ましい）

内 容

【事前活動】

行政官: カントリーレポート作成、市民団体代表: 活動紹介発表資料準備

【本邦活動】

主に以下の講義、視察、発表、討論を行う。
1. 講義・討議: 中央政府のジェンダー・多様性の視点に立った災害対応、JICAの災害とジェンダー・多様性に関する取組、市民社会等の取組等
2. カントリーレポート、活動紹介の発表
3. 地方視察・討議: 東日本大震災の被災地訪問、地方政府のジェンダー・多様性の視点に立った災害対応および地方の市民社会の取組等の講義、被災地関係者との意見交換
4. 「災害におけるジェンダー・多様性の課題と有効なアプローチ」に関する討議
5. 各国における具体的取組のためのアクションプランの作成・発表

【事後活動】（2～3か国のみ）

本邦活動にて作成したアクションプラン（研修）の実施。

本邦研修期間

2019/10/10～2019/10/26

担当課題部

社会基盤・平和構築部

所管国内機関

JICA東北

関係省庁

実施年度

2019～2021

主要協力機関

調整中

**特記事項
及び
ホームページ**